



INDUSTRIAL PRESS, INC.

32 Haviland Street, Suite 3, South Norwalk, CT 06854 ❖ Tel: (203) 956-5593 ❖ Fax: (203) 354-9391
❖ E-mail: info@industrialpress.com ❖ Websites: industrialpress.com; ebooks.industrialpress.com

New Book Announcement

需要主導型 MRP 第 2 版

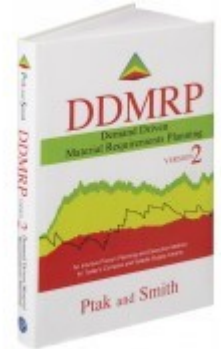
Demand Driven Material Requirements Planning (DDMRP), Version 2

新刊

Author: Carol Ptak and Chad Smith

ISBN: 978-0-8311-3628-4, Hardcover (7 x 10) \$69.95, 368pp.,

Pub Date: 2018 年 2 月



1950 年代、資材所要量計画(あるいは“MRP”)と呼ばれる方法は、製造業の世界を永続的に変化させました。しかし、時代は変わりました—顧客の許容時間はより短くなり、製品が多様化・複雑化し、サプライチェーンが世界中に広がっています。MRPはこの”新しい標準(New Normal)”“では劇的に失敗しています。

「需要主導型MRP、第 2 版」では、1950 年代の概念を現代に効果的に取り入れた、サプライチェーンを計画し実行するための、実践的で確かな新しい方法を提示します。DDMRP の基盤は、関連資材の流れの創造、保護、加速間の連結や、新しい標準において資産パフォーマンスへの収益を促進するための情報に基づいています。

DDMRP は、革新的な多段階—“ポジション、プロテクト、プル”—アプローチを活用し、所有権、市場、技術、販売、そして供給ベースに注意が払われたまま、今日のより複雑な供給シナリオの中で、在庫量を計画し資材を管理するのを助けます。これは、会社が供給注文の予測誤差をなくし、実際の市場要求に沿って構築することを可能にし、計画と実行のレベルでより良くより早い決断と行動を促進させます。DDMRP は、メジャーなグローバル企業 1000 社で既に活用されています。本書は、DDMRP の決定版書籍です。認定需要主導型計画者(CDDP)プログラムをうけるすべての人たちのためのコースウェアとして必要になるでしょう。

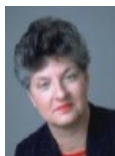
New Features in Version 2

- Completely new Chapter 13, introducing the Demand Driven Adaptive Enterprise (DDAE) Model
- New Appendix E: The Innovations of DDMRP
- New and revised graphics scattered throughout the book

Table of Contents

PART 1: Perspective: •Ch 1: Planning in the New Normal •Ch 2: The Importance of Flow •Ch 3: Material Requirements Planning (MRP) in the New Normal •Ch 4: Unlocking a Solution – The Power of Decoupling **PART 2: Becoming Demand Driven** •Ch 5: Supply Order Generation and Execution for the New Normal •Ch 6: Strategic Inventory Positioning •Ch 7: Strategic Buffers •Ch 8: Buffer Adjustments •Ch 9: Demand Driven Planning •Ch 10: Demand Driven Execution •Ch 11: DDMRP Impacts to the Operational Environment •Ch 12: DDMRP Metrics and Analytics •Ch 13: The Demand Driven Adaptive Enterprise Model •Ch 14: Implications for Information Technology •App A: An MRP Example • App B: Simulating DDMRP Buffers • App C: Applying DDMRP to the Apparel Retail Environment •App D: Demand Driven MRP Dictionary •App E: The Innovations of DDMRP

Author Bios



Carol Ptak, CFPIM, CIRM (キャロル・タック)

Demand Driven Institute のパートナー。最近ではバシフィック・ルーザン大学の客員教授。APICS (American Production and Inventory Control Society) の元会長。MRP、ERP、リーン、制約条件理論(Theory of constraints)に関する書籍をいくつか出版している。



Chad Smith, CDDP (チャド・スミス)

Demand Driven Institute の共同設立者、パートナー。それ以前に、Constraints Management Group(CMG)で 8 年間マネージングパートナーとして従事。MRP、制約条件理論、需要主導方法に関する書籍の共著者、貢献者である。

DDMRPの発信！

<著者へのインタビュー>

IP: DDMRPは、サプライチェーンマネジメントの革新的な新しい方法であり、あなたがたの著書は、このホットトピックに関する決定書と考えられています。それはどういうことですか？

タック&スミス: 世界は、1960年代初頭におけるMRPの発明以来劇的に変化しましたが、MRPは変わっていません。毎日のように、企業は、時代遅れで効果のない不適切な一連のルールに基づいて、数十億ドルのサプライチェーンと製造活動を計画しています。証拠は私たちの目の前にあります: これらのスプレッドシート計画の拡散は、社員が自分たちの計画システムが教えてくれることをどのくらい信用していないかをまさに示しています。答えは単に「ただシステムを使用せよ」ではないのです。彼らは、もしシステムが言うことに従っていると長くはないだろうと分かっているのです。答えはまた、単に「より良いことを推察せよ」でもありません。なぜでしょう? 変動性と複雑さ(その多くは自らによります)は、私たちが補うよりも速い速度で拡大しています。徹底的な基本的計画の見直しが必要です。DDMRPに入りましょう。

DDMRPは、ブルウィップ(鞭)効果を生じさせる需要信号の歪みと供給継続の変動に対処するための直観的で実践的かつ実証済みの方法です。これは需要主導型適応システムと呼ばれるより大きなフレームワークの最初のステップで、私たちが今日目にしていく複雑で変動しやすいサプライチェーン環境の中で、企業に持続可能で成長可能な道を描かせます。DDMRPの基礎は、「すべての利益は関連情報の速さに正比例する」というジョージ・プロスルの製造業の最初の法則に基づいています。DDMRPは、ビジネスの戦略的かつ戦術的な範囲において、関連情報および資材を生産する在庫ポジションとメカニズムをともなった需要主導型サプライチェーンモデルをデザインし実行します。この方法論は、すでに多くの成功したグローバル企業1000社で使用されています。

IP: DDMRP を使用している組織の例と、それが企業の生産性と利益をどのように改善しているのか教えていただけますか？

タック&スミス: DDMRPを実行している看板がいくつかあります。話せるところもありますが、話せないところもあります。消費者製品分野では、米国内のほぼすべての家庭に DDMRP の実施を通じたアイテムが少なくとも 1 つはあります。ボトックスのメーカーのアラガンは、最初の DDMRP 実施の結果を発表しました。驚くほど変動のある内外環境の中で、DDMRP により 30+% の在庫を削減し、配送ネットワークへの時間短縮を 50% 以上、サービスレベルは 99+% と報告しました。ミシュランは、北米とヨーロッパで一連の DDMRP 実施を開

始しています。ブリティッシュ・テレコムは事業全般に DDMRP を導入しています。来年中には、結果や経緯を共有する他の多くの大企業が現れることでしょう。

IP: DDMRPは小規模な組織にとって効果的ですか？一部の業種により適しているのですか？世界的な規模で採用されていくと見込んでいますか？

タック&スミス: それは「小規模」で何を意味するのかにかかっています。私たちの経験では、DDMRPは、サプライチェーンを通じた供給発注の生成と管理に従事し、取り組み始めている企業にとって、非常に効果的です。彼らは近代的あるいは旧式の計画システムを備えているでしょうが、それらのスプレッドシートを超えることができるのです。

DDMRPは、既に世界規模で採用されています。オーストラリア、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、北米、南米には著名なDDMRP実施例があります。これは、ソフトウェア企業が、DDMRP仕様に準拠してコードを作成するにつれて、ますます拡大し続けるでしょう。完全準拠の企業リストは、コンプライアンスを要求する企業リストと同様に急速に増加しています(私たちは彼らをまだ評価していません)。

IP: DDMRP に関する認定プログラムはありますか？もしあれば、マネージャーたちは何を知る必要がありますか？

タック&スミス: DDMRP の原則によって参加者を訓練する国際認定の 2 つのプログラムがあります。認定需要主導プランナー/CDDP (Certified Demand Driven Planner) プログラムは、Demand Driven Institute と国際サプライチェーン・エデュケーション・アライアンス (ISCEA) との共同でおこなっています。私たちは、世界中で 40 人の推薦指導者をかかえており、数名は大企業へも配属されています。プログラムを通過する人たちは、戻ってすぐに自社に影響を与えることができます。CDDP は、2015 年および 2016 年のサプライチェーン計画認定プログラムのガートナー・マーケット・ガイドにおける 10 プログラムのうちの 1 つです。

認定需要主導リーダー/CDDL (Certified Demand Driven Leader) プログラムは、シニア・ミドルレベルのオペレーション、サプライチェーン、セールス、マーケティング、および財務のマネージャーに需要主導型運営モデル (DDOM) を設計、実施、維持する能力を備えさせます。プログラムは、計画、運営、流通、財務に及びます。

認定需要主導リーダー/CDDL プログラムは、2 日間にわたりコンタクト 10 時間に 7 つのモジュールで構成されています。テストは、スケジューリングされたテストセッションを通してコース終了後、ISCEA の安全な iProctor システムを通じて行われます。

“この本はダイナミックな適応型サプライチェーンを通じた新しいライフスタイルの究極の参考資料だ”

タック&スミスは、DDMRP の開発と本書の執筆により、サプライチェーンマネジメントに共通認識を導入し、共通の慣行を打ち破りました。もしあなたの会社が、サプライチェーンを通して変動性や不確実さに直面していて、将来が過去のように少しでも見えるのであれば、この本は答えを持っているでしょう。DDMRP は、今日の複雑かつ変動的なサプライチェーンにおけるプランニングの将来を代表しています。伝統的なプランニングアプローチにおいて固有の欠陥が顕示され、現代的適応型サプライチェーンで解決されます。これは、需要主導適応概要と、需要主導販売および運営プランニングの中核な立場で、プランニングのための単なるより良い方法というだけでなく、今日の過競争的環境において組織を運営するより良い方法です。運営と戦略は、いまや容易かつ現実的に双方向に結びつくことができ、両者が株主持分への最大リターンのため、重要な変化に対応することを可能にします。 — Dick Ling, S&OP コンサルタント、「Orchestrating Success」の著者